

令和7年度 道徳科 2年 年間指導計画・評価基準

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	評価基準(視点)
4月	二年生の とうとくの 学しゆうが はじまるよ とうとくでは こんな 学しゆうを するよ	適時	* 友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができるか。 * 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。
4月	1 春が いっぱい 「自然を感じる」 【D 自然愛護】	1	* 友達の考えにふれ、身近な動植物や光や風などの自然について、多面的・多角的に考えることができるか。 * 優しく、温かい心で身近な動植物に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	2 知らない 人にも 「挨拶の相手」 【B 礼儀】	1	* 友達の考えにふれ、知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	3 あいさつ 「挨拶の仕方」 【B 礼儀】	1	* 時と場に応じた挨拶をすることの大切さについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 * 礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場に応じて実践しようとするについて、自分との関わりで考えることができるか。
5月	4 よいのか 「きまりを守って」 【C 規則の尊重】	1	* 友達の考えにふれ、自己中心的な発想の問題点について、多面的・多角的に考えることができるか。 * 楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	5 みんなの ものって？ 「みんなのものを大切に」 【C 規則の尊重】	1	* 約束やきまりについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 * みんなが使うものを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
6月	【拡大導入】 ●なかまはずれをなくす ために	適時	—
	6 たかしくんも いっしょに 「分け隔てなく」 【C 公正、公平、社会正義】	1	* 「なかまはずれ」にされた人、した人、助けにいった人などさまざまな登場人物に共感し、「なかまはずれ」という問題について、多面的・多角的に考えることができるか。 * 自分のクラスでも起こりかねない問題として捉え、「なかまはずれ」が起こらないようにするためには、どのようにしていくのがよいのかについて、自分との関わりで考えることができるか。
	7 るっぺ どうしたの 「生活を見直す」 【A 節度、節制】	1	* 友達の考えにふれ、わがままな行動の問題点について、多面的・多角的に考えることができるか。 * わがままをせず、規則正しい生活を送ることの大切さに気づき、これからどのようにすればよいのかについて、自分との関わりで考えることができるか。
	8 わたしだけの かばん 「物を大切に」 【A 節度、節制】	1	* 登場人物や友達の考えにふれ、物を大切にすることからわかることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 物を大切にすることの価値に気づき、物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
7月	9 教えて いいのか 「安全を守る」 【A 節度、節制】	1	* 友達の考えにふれ、危険を避けて安全に生活するためには、どのようにすればよいのかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 危険を避けて安全な生活を送るために必要なことに気づき、今後どのようにすればよいのかについて、自分との関わりで考えることができるか。
	10 金のおの 「いつも正直に」 【A 正直、誠実】	1	* 友達の考えにふれ、失敗を認め、素直に謝ることのよさや、正直さとは何かについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 嫌なことから逃れようとして、うそをついたりごまかしたりしないようにするとともに、人の失敗を責めたり笑ったりしないで生きようとするについて、自分との関わりで考えることができるか。
9月	11 あと少し 「やりぬく心」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	* 友達の考えにふれ、苦しいことに対しても諦めずに努力することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 目標に向かって努力することの大切さを理解し、自分の立てた目標は、どんなにつらくても諦めないで達成しようとする意欲と態度について、自分との関わりで考えることができるか。

	12 はりきりバンドとたらたらバンド 「負けない心を」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	* 友達の考えにふれ、自分のやるべきことをしっかりと行うことの大切さを理解し、意け心に打ち勝つ方法について、多面的・多角的に考えているか。 * 怠けたいという気持ちに負けないで、強い意志をもって自分のやるべきことを行うことの大切さや難しさについて、自分との関わりで考えているか。
	13 みほちゃんと、となりのせきのますだくん 「友達の気持ちになって」 【B 友情、信頼】	1	* 話し合いをとおして、友達の気持ちを考えることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 自分の思いだけでなく、友達の気持ちを考えることも大切にして、互いの気持ちを理解しながら接することについて、自分との関わりで考えることができるか。
	14 およげないりすさん 「友達の立場になって」 【B 友情、信頼】	1	* 友達の立場になって考えることの大切さに気づき、どのように行動していくことがよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 友達の気持ちを考えることの大切さを理解し、よりに助け合うことについて、自分との関わりで考えることができるか。
10月	15 電車の中で 「相手を思って」 【B 親切、思いやり】	1	* 親切や思いやることについての友達の考えにふれ、困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接する行為について、多面的・多角的に考えることができるか。 * 困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切にすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	16 きゆう食当番 「温かい心で」 【B 親切、思いやり】	1	* 親切にすることについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 * 身近なさまざまな人の考えや気持ちに気づき、親切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	11月 【拡大導入】 ●自分のよいところを考えよう	適時	—
	17 とおるさんのゆめ 「よさを伸ばす」 【A 個性の伸長】	1	* 友達との関わりをとおして、友達や自分のよいところについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 自分のよさについて考える授業をとおして、自分のよいところや悪いところなどにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、自分との関わりで考えることができるか。
	18 ぼんたとかんた 「よいことをすすんで」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	* 話し合いをとおして、よいことと悪いことを正しく判断するにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	19 つよいこころ 「心の強さ」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	* 友達の考えにふれ、正しいことを勇気を出して行うには、何が必要であるかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
12月	20 おむかえ 「家族の一員として」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	* 家族が愛情をもって接してくれていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	21 ぼくもがんばるよ 「家族のために」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	* 友達の考えにふれ、家族とともに支え合い、家族の一員として家族の役に立とうとする行為について、多面的・多角的に考えることができるか。 * 家族とともに支え合い、家族の一員として家族の役に立つことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	22 大なわ大会 「素敵な学級」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	* 友達の考えにふれ、より素敵な学級にするためには、互いに助け合い励まし合うことなどが必要であることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * より素敵な学級にするためには、互いに助け合い励まし合うことなどが必要であることについて、自分との関わりで考えることができるか。
1月	23 ありがたうはだれが言う？ 「周囲への感謝」 【B 感謝】	1	* 友達の考えにふれ、お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * 日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたりすればよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。
	24 きつねとぶどう 「家族への感謝」 【B 感謝】	1	* 主人公をとおして、家族などの日頃自分のために尽くしてくれている周囲の人々の存在について、多面的・多角的に考えることができるか。 * 家族などの身近な人々からの愛情に対して感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	25 ゆかみがき 「楽しく働く」 【C 勤労、公共の精神】	1	* 友達の考えにふれ、みんなのために働くということについて、多面的・多角的に考えることができるか。 * みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで仕事をしようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

2月	26 今のぼく、むかしのぼく 「私たちの命」 【D 生命の尊さ】	1	*登場人物や友達の考えにふれ、自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 *自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて、自分との関わりで考えることができるか。		
	27 せい長かいだん 「命を見つめる」 【D 生命の尊さ】	1	*友達の考えにふれ、自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 *自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて、自分との関わりで考えることができるか。		
	28 しあわせの王子 「心の美しさ」 【D 感動、畏敬の念】	1	*美しいものや美しい心についての友達の考えにふれ、王子やつばめのもつ心の美しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 *美しい心や、美しい心から生まれる行動のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。		
3月	29 日本のたから 富士山 「国やふるさとへのよさ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	*友達の考えにふれ、国や郷土の文化や生活について、多面的・多角的に考えることができるか。 *国や郷土の文化や生活のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。		
	30 国旗と国歌を大切に 「世界の国々」 【C 国際理解、国際親善】	1	*グループでの交流を通じて、国旗にこめられた意味とその大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 *国旗や国歌の大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。		
適時	31 虫が大すき ——アンリ・ファーブル—— 「自然に親しむ」 【C 自然の恵み】	1	*友達の考えにふれ、自然や動植物との関わりについて、多面的・多角的に考えることができるか。 *自然や動植物に親しむことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。		
適時	32 みちかなしぜん 「自然とふれ合う」 【D 自然愛護】	1	*友達の考えにふれ、自然のすばらしさや楽しさ、優しい心で動植物に接することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 *身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり、動物に接したりして、優しい心で自然とふれ合うことについて、自分との関わりで考えることができるか。		
適時	33 いただきます 「命を食べて生きる」 【D 生命の尊さ】	1	*友達の考えにふれ、生命について、多面的・多角的に考えることができるか。 *生きているもの全てに生命があり、「命を食べる」ことで生かされていることについて、自分との関わりで考えることができるか。		
	【コラム】 ◇ありがとう		—		
適時	34 雨上がりの空に 「すがすがしい心」 【D 感動、畏敬の念】	1	*友達との話し合いをとおして、美しいものに感動する心について、多面的・多角的に考えることができるか。 *美しいものにふれ、その道徳的価値について、自分との関わりで考えることができるか。		
適時	35 あがれ、大だこ 「大好きな私の町」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	*主人公の立場になって、伝統行事や古くから伝わるものについて、多面的・多角的に考えることができるか。 *伝統行事や古くから伝わるものの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。		
適時	学びのきろく	適時	*友達の考えを聞いたり、自分にあてはまると思ったりしたことなどから心に残った話を選び、道徳の学習を振り返りながら、選んだ理由を考えることができるか。		
適時	一年間のどうとくの学しゅうをふりかえろう	適時	*いちばん大切だと思った話と選んだ理由、一年間の道徳の学習でがんばれたこと、3年生の道徳の学習でがんばりたいことについて、一年間の道徳の学習を振り返りながら、自分の考えをまとめることができるか。		
適時	【しりょう】 みにつけよう れいぎ・マナー	適時	学校や公共の場での一般的なマナーについて知るとともに、相手を意識したふるまい方や心配りの仕方について考えることができるようにする。また、なぜ礼儀正しくすることやマナーを守ることが大切なのかについて考えさせることをとおして、日常生活のさまざまな場面で礼儀正しくふるまおうとしたり、すすんでマナーを守ったりしようとする実践意欲と態度を育てる。		